



南窓会 だより

| 2015 |



CONTENTS

- 会長・校長ごあいさつ
- 松阪高校100年の歩み
- 卒業生に聞く
- 南窓会・同窓会報告

- 支援金のご報告
- 進路結果報告
- 寄付金の御礼名簿
- お知らせ・編集後記

どあじやつ



会長
齋藤 洋一

南窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

ご存知のように、松阪高校は明治四十三年（一九一〇年）飯南女学校として発足し、今年で一〇五年を迎える歴史と伝統のある学校です。

現在卒業生は三万二千人を超え、多くの仲間が日本全国あるいは海外にて活躍されており、大変嬉しく誇りに思います。

一〇一〇年に創立一〇〇周年を迎えた際には会員の皆様から絶大なご協力をいただき、新校門の建設・校旗・綬帳・校訓碑を寄贈いたしました。また一〇一一年には木の花同窓会・松中会を正式会員として迎え入れました。その後も南窓会だよりの紙面を刷新し一年に一回の発行としました。WEB配信も開始するなど着実に歩みを重ねております。

毎年八月に開催される南窓会総会には全国各地からの会員が多数参加していただき、母校の建設・校旗・綬帳・校訓碑を寄贈いたしました。また一〇一一年には木の花同窓会・松中会を正式会員として迎え入れました。その後も南窓会だよりの紙面を刷新し一年に一回の発行としました。WEB配信も開始するなど着実に歩みを重ねております。

近年、一トをはじめとする様々なイノベーションにより我々を取り巻く環境はめざましく変化しています。

今後も皆様と共に南窓会活動をさらに発展・充実させていきたいと願う所存でございますので、更なるご理解・ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、母校の益々のご発展と会員各位のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして南窓会だよりの発刊のご挨拶とさせていただきます。



校長
細見 明典

新緑の季節となり、四月に入学した新入生も学校に慣れ、勉学やクラブ活動に積極的に参加して活気ある高校生活を送っています。

南窓会の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。平素

から本校の教育活動に暖かいご理解とご支援を賜り、心からの感謝申し上げます。

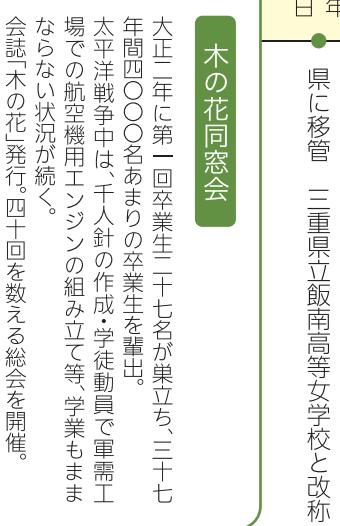
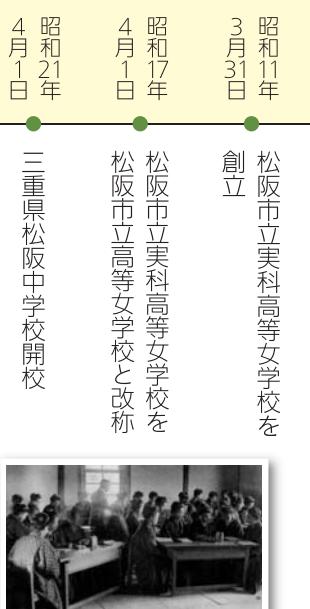
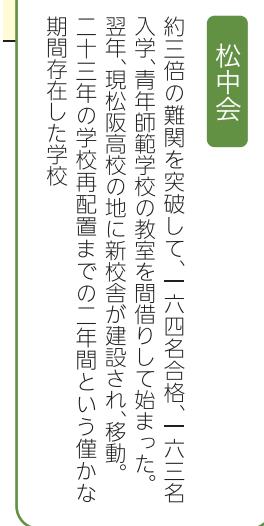
高等学校教育においては、昨年一一月の中央教育審議会の答申で、「我が国が成熟社会を迎へ、知識量のみを問う「従来型の学力」や、主体的な思考力を伴わない協調性はますます通用性に乏しくなる」としています。また、知識・技能の習得に加えて、思考力・判断力・表現力等の能力や、主体的に学習に取り組む態度の育成を目指すとともに、生徒が主体性を持つて多様な人々と協力して問題を発見し解を見いだしていく能動的学修（アクティブ・ラーニング）の充実などが求められています。

松阪高校では、生徒になぜ勉強をするのかを考えさせ、志望大学に入りたいからとか、希望する会社に入りたいというような目標だけでなく、もっと遠くの将来を見据えて、自分がどんな人生を歩みたいのか、具体的には、将来どのような形で社会に貢献したいのか、それにはどのような学問を修める必要があるのかまで考えて行動して欲しいと考えています。

生徒たちの状況でございますが、先輩方のよき伝統を受け継ぎ、勉学とクラブ活動の両面で頑張っています。その進路状況は、昨年は東京大学へ一名、今年は医学部医学科へ三名が合格するなど、生徒一人ひとりの進路希望実現に向けた努力の成果が上がっています。今後も、大学における学修等を社会でどのように生かしていくかなど、生徒に進路の目的を考え方させるキャリア教育を進めることにより、社会に貢献するとともに地域の中心となつて活躍する人材の育成を目指して参ります。

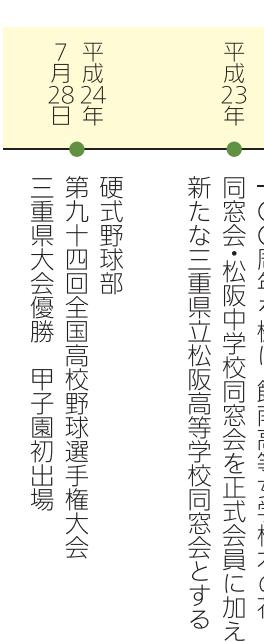
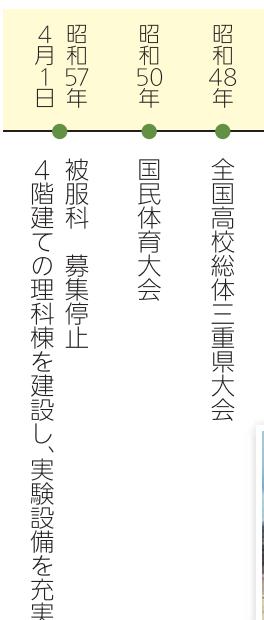
今後も、生徒の皆さんとともに教職員一同頑張っていきたいと考えていますので、松阪高等学校へのやみなみ支援ご協力をお願いしてご挨拶とさせていただきます。

松阪高校 100年 の歩み



創立当時の校舎

授業風景(昭和8年)



体育祭(昭和63年)

△松高時代の思い出は？

生徒会活動の一環で応援団をしていた事が一番印象深く心に残っています。普通に応援してもおもしろくないと、メンバーで持ち寄った鯉のぼりをかかげて外野を走り回ったり、神輿を作り、さらに粘り強くがんばれとの思いを込めて神輿に納豆をぶら下げるなどしてみたり。そうやっておもしろい事を追求するうちに、野球部のための応援がいつしか自分達の楽しみに変わっていました。しかしながら『ちょっと変わった事をすれば人は喜んでくれる』とその時感じた事が、今の仕事の原点になっています。

△なぜ伊勢うどん大使に？

東京で暮らしが始め、関東の人間に伊勢うどんの話をした際、『コシが無いうどんはうどんじゃない！』と完全否定され、なんとも切ない気持ちに。関東では全く受け入れられないそんな伊勢うどんが不憫で不憫で…(笑)。この歴史ある伊勢うどんを何とかして世に広めたいと、取材や執筆を進めるうちに、自分自身がその魅力にどっぷりはまり込んでしまいました。そんな活動が認められてから伊勢うどん大使のお話をいただき、非常に名誉な事と喜んでお受けしました。



△コラムニストになつたきっかけは？

子どもの頃から物書きを目指していたわけではないのですが、何かを企画したり人に楽しんでもらえるような職に就きたいとは思っていました。

雑誌の編集の仕事をしていた頃、ページをもらって自分で

『大人養成講座』という記事を書きました。それを見た出版社の方からお声がかかり、一冊の本にすることになったことがきっかけですが、高校時代にお世話になった先生方の『何でもチャレンジしていく!』の教えが常に大きな力になっていると思います。

△三重・松阪を外から見た印象は？

東京に行って感じるのは、皆田口主張

が強いこと。逆に松阪の人ははつきり物を言わず、あうんの呼吸で、空気を通じ合う部分があると思います。それが故に

三重や松阪にはいい物がたくさんあるのに、自慢するのは『恥ずかしい』という県民性からか、『自分達がわかっただらええやん』と、外にアピールしないところがあると感じます。そんなPR下手な部分を感じつつも、相手の気持ちを慮る『気質は素敵だと思います』。

△在校生の皆さんへ一言

こうすれば成功するんじゃないかとか、ああすれば儲かるんじゃないかとあれこれ策を練るより、自分がのめりこんで楽しめる事が結果長続きし、うまくいく気がします。それは自分が伊勢うどんを広める活動をしてみて実感するところです。

私の場合はですが、自分で目指して努力して今に至っているという実感は無く、たまたまの積み重なりでどうにかやってきました。在校生の皆さんにとっては、ものすごく頼りないアドバイスではありますが、力を入れすぎず成り行きにまかせればなんとかなるものだと思います。若い人からの、『ステップアップするためには何が必要？』とか『目標への最短距離は？』といった声を聞くことがあります、最短距離を生きていくことよりも、回り道をした事が後になって役立つ時も多いのではないかでしょうか。



石原壮一郎 PROFILE

松高33回生(S56卒)
月刊誌の編集者を経て、1993年に『大人養成講座』でデビュー。以来著書を次々と発表し、新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・ウェブ・ゲーム等あらゆる媒体で活躍。2012年「伊勢うどん友の会」を立ち上げ、伊勢うどんの応援を始める。その後、伊勢うどんへの太い思いが認められ、翌年世界初の「伊勢うどん大使」に就任した。



2012年夏 松阪高校を初の甲子園へと導いた 球速148キロ左腕「竹内諒」

Q どんな高校生活を送っていましたか？

勉強はそっちのけでとにかく野球に明け暮れる日々でした。授業が終わるとグラウンドに出て、毎日メンバーと一緒に汗を流しました。僕はピッチャーですが、みんなでやったバッティングの練習は楽しかった思い出です。勉強の方はと言うと、授業が長いなーといつも感じていました(笑)

部活後は、同級生が勉強に費やしている時間をランニングなどの体力づくりに使ったりと、当時からプロの選手になる事を意識して毎日を過ごしていました。

**Q 甲子園出場を成し遂げる
ことが出来た要因は？**

野球オブリーの高校生活だったとはいって、進学校なので毎日の練習は一時間のみと限られていた事もあり、強豪校に比べるとかなりハンデがあ



Q 大学野球の感想は？

今も変わらず野球中心の毎日です。平日は授業がない時間はとにかく練習です。高校の時より練習時間も増え、体重も五キロ増加。体もしつかりました。

三年生となつた今年の目標は、春秋のリーグ戦で優勝すること。特に早慶戦は勝負次第で優勝が決まると言われる程で、昨年も出場させていただきましたが観客は超満員で、甲子園以上の緊張感を味わいました。

卒業後の目標はもちろんプロ入りです。ここまで来たら何が何でも成し遂げたい。高校時代に力不足があったので、早稲田で心身共に鍛え、松高初のプロ野球選手を目指します。



竹内諒 PROFILE

松高65回生(H25卒)
2012年、創部66年目で初の甲子園出場を成し遂げた野球部のエース。東海地区屈指左腕として注目を浴びた。現在早稲田大学スポーツ科学部3年、野球部に所属。

在校生のみなさんへ一言

勉強についてはとやかく言えないでの(笑)、野球部員に対して、また他の部活動をしている人に対してですが、メリハリがとても大切だと思います。勉強する時は勉強、部活の時は部活と、限られた時間の中でしっかり集中してやっていく事が大事だと思います。



学生服でインタビューに応じてくれました。

南窓会総会へ参加してみよう♪

皆さんは南窓会総会に参加されたことはありますか？南窓会は松阪高校卒業生の同窓会の名称で会員は松阪高校の卒業生などで構成されています。その南窓会の総会が毎年八月に開催されます。

皆さんも街中でポスターは拝見されたことはあっても、実際何が行われているか？自分は参加してもいいのか？そして参加したことがある方も実際は少ないのではないか？

実は南窓会総会は、学年の垣根を越えた同窓会なんです。卒業生とおしの交流を少しでも深めようという目的で開催されています。

しかしながら、実際数年前までの南窓会の出席者はその年の役員や教員などで、新しく参加される方が非常に少なかつたのも事実です。

そこで、一〇一〇年から開催方式を一新し、「学年幹事」を中心とした運営に大きく切り替わりました。毎年その年に

中心となっていた学年を設定し、その年の学年幹事さんとサブの学年幹事を中心に南窓会の懇親会の運営をお願いしています。今年の学年幹事は昭和五十五年卒業の担当となり、サブ幹事は昭和四十一年卒と平成四年卒となります。

学年幹事を誰が担当しているかはお気軽に南窓会事務局にお問合せください。もちろん全卒業生が参加できますので、学年幹事の年代にかかわらず積極的にご参加ください。

一〇一五年は八月八日(土)にフレックスホテルにて開催されます。本年もたくさんの同窓生の交流がなされることを期待しています。



平成二十五年度総会・懇親会報告

昭和53年卒 小林万高

平成二十五年度の懇親会は私たち昭和五十三年卒がメイン、平成一年卒がサブ、そして昭和三十九年卒の先輩方が相談役として幹事をさせていただきました。学年持ち回りで幹事をするこの方式になって三年だそうですが、目的はその学年を活性化し、ひいては南窓会を活性化することです。

私たちの学年は卒業して二十五年になりますが、同窓会は一回ほど行つただけでした。しかし、今回幹事をすることになり、一〇人ほどで打合せを何度もし、当曰は一〇人の参加があり、久しぶりに旧交を暖めることができました。これをきっかけに学年の結びつきがもっと強くなればと思います。

また、いろいろな学年の方に助けていただき有難うございました。他学年の方と触れ合い、同窓生としてのつながりを実感できるよい機会となりました。

平成二十六年度総会・懇親会報告

昭和54年卒 小倉 薫

平成二十六年度の総会・懇親会は、昭和五十四年卒の学年がメインで担当しました。準備のための幹事会を一月から月一回ずつ開いて準備に当たりました。ポスターの図案決めから始まり、総会冊子の広告取り、チケット販売、当日の座席割りまで、さまざまな準備があり、実際に担当してみないと分からぬ苦労がありました。

総会当日の八月九日は、台風が接近し大荒れの天気になりました。朝から交通機関が混雑し、JRや近鉄大阪線は運休している状態でした。予定していた松高ダンス部のアトラクションは中止を決断しました。その他は予定通りに準備しましたが、開始時刻には大雨特別警報が発令され、やはり欠席者があつきました。出席予定一六七人のところ一〇〇人の出席となりました。総会史上大変印象に残る年になりました。

最後になりましたが、サブ幹事の昭和四十一年卒、平成二年卒の方々には多数ご参加いただき、乾杯の音頭や受付、記録等をお世話になり、ありがとうございました。

同窓会

第8回生（31年卒業）

北村 守彦



▲平成25年の同窓会にて。

学舎を後にして早いもので五十七年が過ぎた。体育祭の「前夜祭」でストームを囲み笙声を張り上げ活気に溢れていた若者も今や後期高齢者の仲間入りをするに至った。

しかし、高校時代に築かれた同窓の絆は固く、卒業後毎年同窓会を開催している。

同窓会の形式はその時の幹事（一年交代）により異なるが、市内ホテルでの晩餐形式、鳥羽方面で泊まりがけでの同窓会、伊豆箱根に足を延ばし、東京南窓会の友と合同で開催したこともある。

ただ残念なこ

とは、年々体調不良のため欠席の人が増えてきたこと、それにも増して同窓生の訃報を目にすることが次第に増え

て来たのは寂しいことである。来年は私達も喜寿を迎える。生涯思い出に残る同窓会を開催したいと思案中である。

第26回生（49年卒業）

大杉 純朗

私たち四十九年卒は奇しくも卒業時においても前

回の「卒業四十周年同窓会」も遷宮の年に開催となりました。

今回の同窓会は構想一年、準備期間一年六ヶ月を懸け、入念に用意？し、二〇一三年八月十七日 松阪の「華王殿」にて一〇〇余名の同窓生と西川先生、田中先生、森本先生のご臨席を頂



き、賑々しく開催いたしました。当曰は保育園の発表会の如き会場の飾り付け、出席者の名札を開催サポートーーの手作りして臨みました。

当曰は待ちきれない同窓生が受付時間のはるか前より会場に詰め掛け、ロビーではプレ同窓会の花盛りでした。

次回の同窓会を遷宮の年では極端に出席者の減少が懸念されるため、還暦の年に田中先生の進言により学年同窓会の開催への準備作業が始まろうとしております。

次回の同窓会を遷宮の年では極端に出席者の減少が懸念されるため、還暦の年に田中先生の進言により学年同窓会の開催への準備作業が始まろうとしております。

懐かしの校歌を大合唱し、最後に竹本文字久大夫の音頭で「♥」で一本締めを行い、公式2次会のあととも三次会四次会など盛況の一曰でした。

次回の同窓会を遷宮の年では極端に出席者の減少が懸念されるため、還暦の年に田中先生の進言により学年同窓会の開催への準備作業が始まろうとしております。

ギーさんが今春、松阪を訪れ、ペチ同窓会を行い、ペギーさんのビデオレターが大きく映し出され、懐かしさが倍増しました。それに加え、昨年の快挙「甲子園初出場」や「松高の今」も映し出しました。

同窓生の人間国宝竹本住大夫さんの一番弟子の「竹本

文字久大夫」さん的人形淨瑠璃文樂の面白、可笑しい裏話や飛び入りでの天白篤子さんの「世界の松阪牛の唄」の演歌も披露され、盛り上がりも最高潮となりました。

最後の「松高カルトワーズ」では四十年振りのクラスメイトの共同作業となり、知られざる松高の珍問奇問の謎解きを楽しみました。設問の中において臨席頂いていたOBもある西川先生より反対意見があり、先生の記憶が正しいとの判定が下り、回答の変更を余儀なくされ、出題者がお詫びするという珍事もあり、久し振りのクラスマッチも結集出来たようです。

第13回生（36年卒業） サボロー会

中川 秀躬

去る五月二十四日（土）華王殿にて、高齢者の域に達した六十一名の軍団で同窓会を開催しました。

松阪市内在住の有志が、お正月やお盆に牛銀や松阪ハツにて食事会を開催しておりましたが、年々出席者が増え、学年全体の同窓会を隔年で開催することになり、昭和五十三年からスタートし、今回で十八回目となりました。

当日は、急いで他界されました同級生の冥福を祈り一まず、開催の挨拶、逝去された同窓生と恩師方々への黙祷、心温まる西川先生の挨拶、森本先生の元気溌剌の乾杯の発声を行い、歓談タイムに移行し、長年の風雪？により大きく変貌した面々がすかに残っている面影を頼りに当時を思い出し、旧交を温めておりました。

この歓談タイムでの余興において私たちの学生時代のヒット曲に合わせてあの頃の世相を振り返り、卒業写真を会場内で流すと多くの出席者が白黒？の写真を食い入る様に見ていました。

偶然ですが、当時、アメリカからの短期留学生のペ

話を混ぜたユーモア溢れる講和もあり、大いに盛り上が

り、瞬く間に予定の三時間が過ぎ、最後に木村貢君の閉会の言葉に続き、次回幹事の金堀昌彦君にバトンを渡し、一年後の再会を楽しみに終了しました。

開催毎に、出席者が減つていていますが、まだまだ七十一歳！今後もがんばります！



第15回生（38年卒業）

谷由和

昭和三十八年卒業・学年同窓会を平成二十六年六月八日（日）鳥羽・扇芳閣にて開催しました。卒業から半世紀を超えた松高38（さんぱち）会「古希の集い」には、関東地域や遠く沖縄からの同窓生も含め、十五名の顔が揃いました。会の初めに物故者への黙祷をささげ、つぎに元気に出席できることへの感謝・古希の祝いに乾杯・鯛の舟盛りや車工ビのおどりの縁起の料理などに舌鼓を打ちながら杯もすすみ、旧交を温めました。盛り上がったところで「蒲城の翼垣鼻の…」を合唱し

て母校を慕い、まさに「ここに集ひしよろこびよ」の想いに浸りながらひとときを過ごすことができました。

一二次会にも全員参加し、自慢ののど合戦で、年齢も時のすぎるのも忘れさせる楽しくにぎやかな一夜となりました。

記念に集合写真を撮り、全員に配りました。



第8回生（31年卒業）

北村守彦

八月二十六日 午前一〇時三〇分・松阪駅東口に集合、太田屋の送迎バスにて高速道路経由で鳥羽市相差町に向かう。十一時前に太田屋に到着。受付け終了後記念写真撮影を行う。十二時二〇分より同窓会（宴会）開始。

幹事代表（北村守彦）の挨拶に続き、東京南窓代表（刀鉢館信雄）の乾杯の音頭の後、宴を開始。

今年は、我々「喜寿」を迎える年で、宴会も例年より派手にやろうと計画、料理を奮発。参加者も豪勢な魚料理に目を見張り美味しく舌づみしながら飲み・語らい・歌いと一時間四〇分の宴会時間は瞬く間に過ぎ、副幹事（鈴木欣一）の閉会の挨拶そして、来年度幹事代表（前島邦彦）の挨拶でめでたく会を閉じた。

参加者全員が、豪勢な魚料理に満足し、飲み・歌い・語らい卒業して五十八年いまだに高校生気分が抜けず、帰途バス内においても賑やかに宴が続く感あり、あたかも修学旅行を思わせる様相であった。

送迎バスで松阪駅東口に、五時前到着、流れ解散をする。

当初計画した、「喜寿」の年の「派手にやろう同窓会」見事成功し、同窓会を終えることが出来、幹事一同肩の荷を下ろした気分である。



第16回生（39年卒業）

田中葵

それは、秋晴れの神原温泉。里山では、市民参加のマラソン大会。とても気持ちのいい天気の中、同窓生が次から次へとやってくる。関東から、愛知から、大阪から…。「久し振りネ！」お元気？地元の友と人の輪で、たちまち受付会場は七十三名、大混雑。次々と五・六名ごとに写真撮影。

「ウエルカムドリンク」は神原館からの「お・も・て・な・し」。古くは、神原温泉で「禊」（みそぎ）をすまし、伊勢参り。その「名湯」に疲れを癒し、宴会へ。

「この年を迎えることのできなかつた友に対し黙祷！」ずい分遠くなつた「青春のあの日、あの頃」。

「今宵は、ゆつくり語り合い、友と酒を酌み交わそう！」昭和三十九年卒の六十九才が第九回の「松高三九会」の同窓会。

校歌全員齊唱で、中締め、後は「二次会」へラウンジ十六夜、「ここ」ははるかかなたの松高生…。「あの頃の～♪ 君は～♪ 若かつた～♪～♪～♪」

▲平成26年の同窓会にて。

支援金の ご報告

南窓会の皆様より
ご支援をいただきありがとうございました。
各クラブとも支援金を有効に活用して、
皆様方のご期待に応えるよう頑張っておりますので、
今後とも一層のご支援を賜りますよう
お願い申し上げます。

H25年度

女子ソフトテニス部

川口 奈那

南窓会より、東海大会、インターハイ出場へのたくさんの
ご支援ありがとうございました。

松阪高校は文武両道を掲げ、他校より練習時間が短いです
が、限られた時間をチーム全員で工夫してやってきました。
インターハイを目指し練習してしまったが、人数が少なく団
体戦に出るときは、他のクラブから人を借り試合に出ること
もありました。しかし、その時期を乗り越え、インターハイ出
場を懸けた試合に勝利したときは本当に嬉しかったです。

インターハイでの、あの独特的な雰囲気は今ではつきり覚
えてます。負けたときは、とても悔しかったですが、同じ県
内の学校が勝ち進んでいく様子を見て、強豪校と試合ができ
る恵まれた環境に気づくことができました。またご指導下
さった先生方、チームメイトや家族、学校側の支え、協力には
とても感謝しています。

応援ありがとうございました。



H25年度

男子ソフトテニス部

この度は第六〇回東海高等学校総合体育大会(団体の部)出場にあ
たり、南窓会の皆様方よりたくさんのご支援をいただきありがとうございました。

東海総体出場をかけて、四月二十七日に伊勢市市営庭球場で三重
県予選が実施されました。部員全員が
一丸となって全力で戦った結果、第二
位という成績を上げることができ
ました。

六月十五日に四日市ドームで行わ
れた東海総体では、全力で戦いました
が接戦の結果初戦敗退でした。

生徒一人ひとりが高い目標を掲げ、
常に向上心を持って日々の練習に取
り組んでいますので、今後もご指導、
ご声援の程よろしくお願い致します。



H24年度

吹奏楽部東海大会出場報告

平成二十五年一月十七日(日)三重県文化会館において開催された、第二十五回管楽器個人・重奏コンテスト三重県大会高等学校重奏の部において県代表となり、平成二十五年三月一十三日(土)三重県文化会館において開催された、第二十五回管楽器個人・重奏コンテスト本大会高等学校重奏の部に出場し、優秀賞をいただきました。

三重県大会においては六十一年度中三位の成績で、県代表四グループの一つとなりました。本大会においては、九県一市の代表四十七グループが演奏し、優秀賞(金賞)をいただきました。出場校の大半は夏の吹奏楽コンクール東海大会出場校であり、本校のような小編成規模校からの出場は珍しい状態でした。しかし、本校はこの大会への出場が三年連続五回目であり、生徒も落ち着いて演奏に集中することができました。来年度はさらに技術を磨いていきたいと思います。



H25年度

陸上部(通信制)

第四十八回全国定時制
通信制陸上競技大会出場
平成二十五年八月十二日、
十四日(東京・国立競技場)

この度は南窓会よりたくさんのご支援をいだきました。ありがとうございました。ありがとうございました。

気温が三十五度にもなる猛暑の中、男子六名、女子一名の生徒がそれぞれ精一杯に青春をぶつけてきた三日間でした。振り返れば、月一から三回行われるスクーリングの日の放課後の他にも積極的に練習会に参加するなど、自己記録の更新に向けて一人一人が頑張っていた姿が甦ってきます。

結果としては、自己ベストを大幅に更新した生徒もいれば、力を發揮しきれなかつた生徒もあります。全国のレベルの高さを実感し、悔し涙とともに来年への雪辱を誓う生徒もいました。しかし、通信制という学習環境の下、さまざまな想いを胸に抱きながら学んでいる生徒たちが炎天下の中で、全力で自らの目標に向けて力を出し切っている姿にとても感動させられました。また、仲間の選手が出場する際に、一丸となつて大声で声援を送っていたこともチームとしての絆の強さを感じました。

生徒ひとりひとりにとって、国立競技場という夢の舞台で競技したという思い出は、これから的人生にとって大きな自信となつていってくれるものと信じています。



H25年度
卓球部

鈴木 悠理

南窓会よりたくさんのご支援をいただきありがとうございました。平成二十六年三月一十六日から二十八日に滋賀県立体育馆にて開催された、第四十一回全国選抜卓球大会に個人として出場しました。残念ながら予選リーグで敗退してしまいましたが、緊張感と歓声の入り乱れる雰囲気の中、全国各地から県予選を勝ち抜いてきた選手たちと試合ができたことは、今後の成長に向けて非常にいい経験になりました。後輩たちも大きな舞台での試合を目指して頑張ってください。

今後とも温かいご支援のほどよろしくお願いいたします。



H26年度
陸上部(通信制)

第四十九回全国定時制通信制
陸上競技大会

南窓会よりたくさんのご支援をありがとうございました。

出場した一名の生徒は、昨年度出場した時の悔しさをバネに試合の今まで、自己記録の更新に向けて日々努力していました。その結果、全国大会では上位入賞こそ叶いませんでしたが、出場した一種目とも大幅に自己記録を更新することができました。清々しい走りの後、「こうした日々の積み重ねが実を結んだ事は、自信になり自分の今後にも繋がっていくだろう」という声が聞けました。

今後も南窓会の皆様のご支援、ご声援の程よろしくお願い申し上げます。

H26年度
水泳部

一年一組太田菜那子さんは六月二十日(土)・二十一日(日)鈴鹿スポーツガーデンで行われた三重県高等学校選手権水泳競技大会において、五〇m自由形を八位、一〇〇m自由形を七位で予選を通過、七月十九日(土)・二〇日(日)名古屋ガイシプールを会場にした第六十一回東海高等学校総合体育大会水泳競技に出場しました。東海大会では両種目とも予選を通過できませんでしたが、九月に行われた三重県水泳競技新人戦において、一〇〇mバタフライを一分六秒二九で優勝、二〇〇m個人メドレーでは一分三十五秒八七で二位と好成績をおさめています。今後が期待されます。



H26年度

剣道部

一月二十一日(日)岐阜県関市総合体育館にて第一回東海高等学校剣道選抜大会が行われた。

松阪高校は、一月の新人大会で高校女子団体の部で五位入賞し、記念すべき東海選抜第一回の出場権を得た。女子部員は一年生四人、一年生一人の五人のみで、団体人数五人ぎりぎりであるため怪我がないように稽古に励んできた。

大会では第六コート一回戦、愛知県四位の名古屋大谷高校と対戦した。先鋒の喜多は惜しい打突もあつたが、なかなか一本にならず残念な引き分けとなつた。次鋒の辻村は相手で一本先取、しかしすぐに小手を取られたが、気持ちが前に出て相手が下がつたところをもう一本面を取り勝利した。中堅の西山は、次鋒戦の勝利に続いて前向きな気持ちで戦つてほしかったが、気持ちが守りになつてしまい一本負けをしました。副将の池村は相手で完璧な一本を決めたが、その後に気持ちが焦つて一本を取られてしまつた。大将戦では一本勝ちで代表戦に持ち込まれる状況だったが、大将の萩野は思い切つて打ちにくくここまで持つていけず、中途半端な攻めをしたところを小手一本奪われてチームの敗退が決まつてしまつた。全体的に力の差をあまり感じなかつたので悔しかつたが、有効打突がとれて次の試合へ希望が持てる試合内容だつた。今回の経験を生かし、四月の春季大会、そして総体へ向けてさらに精進していきたい。



H26年度

第六十一回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会出場

十一月八日、九日に福井市で行われた近畿高等学校総合文化祭の囲碁部門大会に、県代表団体メンバーの副将として参加しました。八日には徳島、大阪、兵庫と対戦し、一勝二敗、九日には和歌山、京都に一勝しました。その結果、大阪、京都に次いで団体で第三位に入ることができました。他校の生徒と一緒に、他県の生徒と戦えたことはとても良い経験になりました。負けて悔しい思いもしましたが、みんなで力を合わせると結果が出せるということを実感しました。一日間でした。応援ありがとうございました。



H26年度

囲碁部

放送部では番組制作のほか、お昼の校内放送、学校行事でのアナウンス活動をしています。また、最近では松阪市とともにケーブルテレビ番組を企画し制作中です。今年、第六十一回全国高校放送コンテスト三重県大会において、テレビドキュメント部門で奨励賞、テレビドラマ部門では最優秀賞を受賞し、東京で行われた全国大会に出場することができました。



H26年度

吹奏楽部

私たち吹奏楽部は、一月八日に東京にある文京シビックホール大ホールで開催された「第三回シンフォニックジャズ&ポップスコンテスト全国大会」に出演し、銅賞をいただきました。この大会には、テレビでも有名な東京都立杉並高等学校を始めとして、様々な吹奏楽全国大会の常連校・バンドがほとんどであり、その中で演奏することができます。今後はさらに基本を重視し、観客のみなさんに感動していただけるような演奏ができるよう努力を続けていきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。



H26年度

将棋部

1年 石川 珠妃

南窓会よりご支援をいただきありがとうございました。

七月十七日～十八日、茨城県武道館(水戸市)にて行われました全国高文祭、並びに全国高校選手権大会女子個人戦、十一月十五、十六日には、アオッサ(福井市)にて行われました近畿高文祭(福井大会)女子個人戦、一月二十九～三十日にはホーリオーケラ新潟にて行われました全国高校新人大会に参加しました。それぞれの大会で全国の予選を勝ち抜いてきた選手と大きな舞台で戦い、緊張の中、自分の力を出しきることは本当に難しいと感じました。新人大会では決勝トーナメントに進み、全国ベスト十六に入ることができました。これからもさらに上位を目指し、皆様のご期待に応えることができますよう、練習に励んでいきたいと思います。

今後とも一層のご支援と声援の程よろしくお願ひいたします。



過去3か年合格者人数一覧

今年度から過去3か年の進路実績は下記の表のとおりです。国公立大学合格者数は平成27年度は三重大53名(医学部医学科3名)を含み116名(現役108名)、平成26年度は東京大2名を含み120名(現役102名)、平成25年度は京大・一橋・三重大医学部医学科2名を含み114名(現役109名)でした。今年度から新課程入試になり、センター試験で理系文系とも理科の負担が重くなり、これまで以上に2年生までの英数国基礎学力の定着の必要性が求められています。また、本年から東大で推薦入試、京大で特色入試が導入されます。どちらの入試にも基礎学力の定着の他に面接・小論文・口頭試問・グループ討議などを行って多面的・総合的に評価されます。中央教育審議会も現代社会を生き抜くうえで必要な「知識・技能」「知識・技能を活用する力」「意欲・経験・多様性」をバランスよく測るような多面的・総合的な入試を求めています。このことをふまえ、松阪高校進路指導部は、授業や家庭学習で知識・技能を身につけることはもちろん、教科学習や総合的な学習の時間で社会課題について多角的な視点で考えたり、部活動で仲間と一緒に力を合わせたりする経験が、今後とも入試でも生きてくると考えています。今後とも後輩たちの進路実現のためのご支援をより一層賜りますことをお願い申し上げます。

国 公 立 大 学	H27	H26	H25	合計
北 海 道	1	1	1	3
北 見 工 業	1		1	2
北 海 道 教 育	1			1
弘 前		1		1
国 際 教 養	1			1
筑 波			1	1
前 橋 工 科			1	1
首 都 大 学 東 京			1	1
東 京 大 学 京		2		2
一 橋			1	1
東 京 外 国 語		1		1
横 浜 国 立	1	1	2	4
東 京 学 芸	1		1	2
東 京 農 工	1	1		2
新 潟 県 立	1		1	2
長 岡 造 形		1		1
富 山 山	2			2
富 山 県 立	1	2		3
金 沢	1	1		2
福 井	1	2		3
福 井 県 立	3	1	3	7
山 梨		1		1
都 留 文 科	1			1
信 州			1	1
岐 阜 韶	1	3		4
岐 阜 藥 科		1	1	2
静 岡 岡	4	8	8	20
静 岡 県 立		2		2
静 岡 文 化 芸 術		1	2	3
名 古 屋	4	7	5	16
名 古 屋 工 業	4	5	3	12
名 古 屋 市 立		2	4	6
愛 知 教 育		1		1
愛 知 教 育			1	1
愛 知 県 立	2	2	3	7
愛 知 県 立 芸 術			1	1
豊 橋 技 術 科 学	1			1
三 重	53	38	43	134
三 重 県 立 看 護	5	8	2	15
滋 賀	3	2	2	7
滋 賀 県 立	1		1	2
京 都			1	1
京 都 教 育	1			1
京 都 工 芸 織 維			1	1
京 都 府 立		2		2
大 阪	2	1		3
大 阪 教 育	1			1
大 阪 市 立		3	2	5
大 阪 府 立		2	2	4
神 戸		2		2
兵 庫 県 立		1	1	2
奈 良 教 育			1	1
奈 良 県 立			1	1
奈 良 女 子		4	1	5
和 歌 山	1		2	3
鳥 取	1	1		2
岡 山		2		2
岡 山 県 立	1		1	2
尾 道 市 立	1	1		2

広 島	島	2	3	3	8
県 立	廣 島			1	1
廣 島	市 立	1	1	1	3
下 関	市 立	3			3
山 口	縣 立	3	1	1	5
山 口	縣 立		1		1
徳 島	島	1			1
高 知	工 科	1			1
北 九 州	市 立	1			1
佐 賀	賀		1		1
長 崎	縣 立			1	1
大 分			1	1	
宮 崎	公 立			1	1
鹿 屋	體 育	1		1	2
琉 球				1	1
国 公 立 大 学	合 計	116	121	114	351

豊 田 工 業	2	2	2
名 古 屋 外 国 語	14	13	11
名 古 屋 学 院	2		3
名 古 屋 学 芸	5	7	7
名 古 屋 女 子	2	5	3
南 山	18	17	22
日本赤十字豊田看護	1	2	1
日 本 福 祉	1	5	4
藤 田 保 健 衛 生	3	6	12
名 城	24	46	39
皇 學 館	50	48	52
鈴 鹿 医 療 科 学	28	36	44
四 日 市 看 护 医 療	7	4	12
京 都 外 国 語	6	1	5
京 都 産 業	21	12	19
京 都 女 子	8	2	8
都 橋	5	1	6
京 都 藥 科	1	1	2
同 志 社	13	17	11
同 志 社 女 子	1	2	7
佛 龍	1	5	3
谷	21	10	12
立 命 館	42	47	56
大 阪 芸 術	1	2	3
大 阪 工 業	3	2	3
大 阪 体 育	1	4	1
大 阪 藥 科	1		1
関 西 西	13	16	14
関 西 外 国 語	5	11	13
近 畿	20	20	24
關 西 学 院	5	17	8
甲 南	4	5	9
甲 南 女 子	2	2	4
神 戸 学 院	2	4	1
畿		14	14
岡 山 理 科	6	1	7
全 て の 私 立 大 学 合 計	539	624	610
			1773

主 な 短 期 大 学	H27	H26	H25
三 重 短 期 大 学	6	12	7
高 田 短 期 大 学	1	4	2
武 庫 川 女 子 大 学	1		2
短 期 大 学 合 計	10	18	13

主 な 専 門 学 校 そ の 他	H27	H26	H25
國立三重中央医療センター三重中央看護学校	5	2	8
三重県立公衆衛生学院		1	
職業能力開発総合大学校	1		
海 外 留 学	3	1	2
専 門 学 校 そ の 他 合 計	20	12	21

	H27	H26	H25
国 公 立 大 学	116	121	114
私 立 大 学	539	624	610
短 期 大 学	10	18	13
専 門 学 校 そ の 他	20	12	21
合 計	685	775	758

寄付金の御礼名簿

卒年

卒年

卒年

卒年※()内は旧



発行

松阪高校同窓会(南窓会)

事務局 〒515-8577三重県松阪市垣鼻町1664 TEL・FAX:0598-67-4178 mail:nansokai@mctv.ne.jp